

How to use of Communication Models

■コミュニケーション模型 使い方のポイント ~ペリオ編~



治療の流れ →

カウンセリング

カウンセリングでは、主訴の確認はもちろんのこと、来院動機や口腔内情報の提供、患者さんが今後どうなりたいかなどの潜在意識や医療サービスに対する希望の聞き取りなど、病気をみるだけでなく意識を聞き取ることが重要になります。



4倍大歯牙分割模型 P13-304D

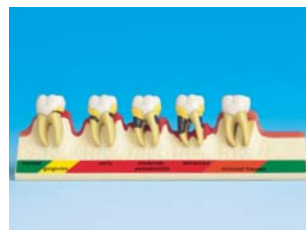


複製歯牙着脱顎模型 i21D-400C

健康的な歯の情報提供や患者さんがどの程度歯に関して知識があるのかを調べるため、X線写真などと組み合わせて歯や歯周組織のことを説明してみましょう。

診査・診断

診査・診断では、これからの治療をスムーズに行えるよう、現状と将来予測の説明を行い、患者さん自らが治療の必要性やそれを行う意味、なぜそのようなようになったかなどの原因やセルフケアの必要性に気付いて頂くことが重要です。



歯周疾患分類模型 P23-PD.1



歯周疾患模型 P15D-008

ペリオとはどのようなものなのか、X線写真や口腔内写真などと組み合わせて進行状況や将来予測、その原因なども併せて説明してみましょう。

治療計画

治療計画では、どこをどのように治療するのかなど、これから行う治療内容を説明し理解を得ることと治療法の妥当性やその意味、その治療にかかる費用や期間などを理解して頂くことが重要となります。



歯周疾患模型 P15D-008



ビオレー病理模型 P2D-001

患者さんと共に歯周治療に取り組む場合、患者さんに「これならできる」と思ってもらえる現実的な指導を一つ一つ行ってみましょう。

治療

治療では、治療計画で説明した計画が今の程度進んでいるのか、また治療方法に関する疾患原因除去法を説明し、実際に治癒していることをイメージして頂くことが重要となります。



歯周疾患模型 P15D-008



歯周疾患模型 P15D-008A

治療前と比べてどの程度良くなってきたかなどの説明とその日に行う治療の流れなどをイラストなどと併せて説明してみましょう。

セルフケア

セルフケアでは、患者さん自らが今まで行ってきた治療の効果に気づき、その治癒した健康な状態を維持していきたいと思い、これから行っていくセルフケアの重要性やポイントに気付いて頂くことが重要となります。



歯磨き指導顎模型 P3D-801



歯周疾患模型 P15D-008

今後気を付けなければならないこととして、歯肉退縮による歯間の離開など患者さんのお口の中にあつたセルフケアの方法やプロフェッショナルケアの必要性を説明してみましょう。

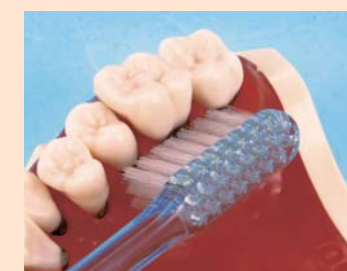
○ペリオ予防のポイント

- ・診査を正確に行い、今後のトリートメントプランを作成してみましょう。
- ・歯肉炎症のある部位や解剖学的に形態が複雑な部位などペリオ発生部位の特徴を掴み、それぞれの指導をしてみましょう。



歯肉炎症のある部位

ブラッシング圧をかけすぎないように微振動を加え、適度なマッサージをしながら清掃します。ポンティック部には歯間ブラシまたは、デンタルフロスを用いて清掃します。



過去に3mm以上のポケットがあつた部位

基本はプロフェッショナルケアでの観察・デフライトメントが必要であるという事を説明し、比較的軟らかめの毛先で届く歯肉辺縁の清掃を丁寧に行います。



解剖学的に形態が複雑な部位

歯列の凸凹に気を付け、小さめの歯ブラシやタフトブラシを用い工夫して清掃します。また、デンタルフロスや歯間ブラシも用いて清掃します。



P23-PD.1



●舌側面観



①健全な状態と歯肉炎の比較 ②軽度歯周炎 ③中等度歯周炎 ④重度歯周炎 ⑤咬合性外傷

疾患
歯周疾患分類模型 [P23-PD.1]

診査・診断時、歯周病に関する現状説明と将来予測を説明しやすくしたモデル。より説明しやすく、また患者さんには比較することで分かりやすく理解して頂けるよう、健全な歯肉や歯肉炎、軽度歯周炎から重度歯周炎までの進行状態に加え咬合性外傷の状態を5つのステップに分けて1列に並べています。X線写真や口腔内写真と併用することで、縁下歯石の付着状態や骨吸収の状態など、歯周病に関する説明をより効果的に行うことができます。



P2D-001



①縁上歯石 ②歯肉退縮・楔状欠損 ③健康な歯肉の状態 ④カリエス

疾患
ピオレー病理模型 [P2D-001]

診査・診断時、健全な歯肉の状態と病変状態の歯肉を比較することで歯周病を分かりやすく説明できるようにしたモデル。右側には歯肉退縮によって引き起こされる歯根露出や歯石沈着を想定した状態を付与しており、左側の健全状態と比較しながら説明することで歯周病に関する意識をより高めることができます。また、右側には楔状欠損を想定した状態や左側には初期う蝕を想定した状態も付与しているため、ブラッシング指導やう蝕と歯周病の違いも説明することができます。



P15D-008



①歯周ポケットの形成やクレフト ②歯肉の炎症や歯肉の退縮 ③歯槽骨の吸収状態や縁下歯石 ④ブラッシング指導

疾患
歯周疾患模型 [P15D-008]

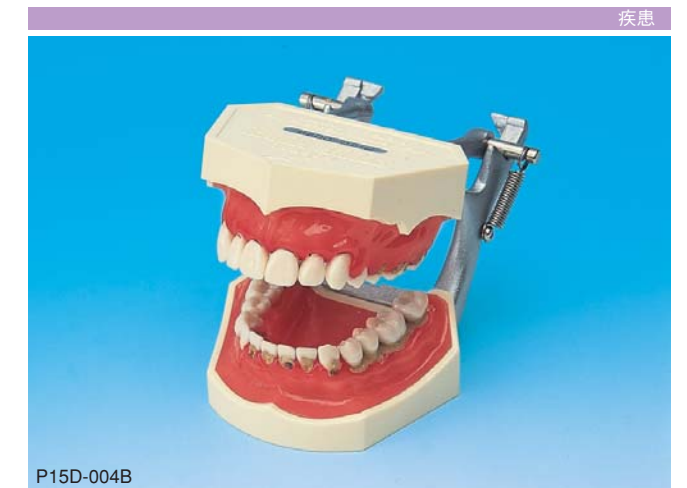
診査・診断時や治療計画の説明の際、歯周病の症状やその原因、治療方法などを説明しやすくしたモデル。歯肉には退縮や歯周炎、歯肉裂開などを想定した状態を付与し、歯肉縁下には歯石や骨吸収などの状態を付与しています。歯内部は取り外し可能なためX線写真や口腔内写真と併用することにより、歯肉縁下の状態をより効果的に説明することができます。また、歯列は叢生など臨床的によく見られる状態を付与しているため、ブラッシング指導にも活用することができます。



P15D-008A

疾患
歯周疾患模型 [P15D-008A]

008モデルの挺出歯、欠損歯や歯肉、歯槽骨を健全な状態に回復したモデル。008モデルと併せて使用することにより、治療前後の状態を説明することができます。



P15D-004B

疾患
ペリオ模型 [P15D-004B]

診査・診断時、中等度の歯周病を説明できるモデル。歯肉炎やフェストーン、クレフトや縁上歯石などを想定した状態を付与しています。